



第3回目に、とりあげる野菜は「れんこん」です！

JA 水郷つくばさん、株式会社 R&C ながの青果さんにご協力をいただき、産地直送のとても新鮮なれんこんをご提供いただきました！

今回の食材は県外産！

上田市では、栽培されていない農産物について学ぼう！

どうして上田市ではれんこんを栽培できないの？

①温暖な気候が必要

れんこんは、高温を好みます。4月に植え、10月ごろ収穫しますが、その間の平均気温が**15℃**以上が必要です。上田市の4月の平均気温は約10℃、10月も約14℃といずれも下回っています。(※)

※気象庁 HP より
(上田市1991~2020年)

②寒さによる病気

夏の気温が高くても、水温が低いと**腐敗病(ふはいびょう)**という病気が発生しやすくなります。水温が20~35℃で最もよく成長し、水温が低いと十分に成長することもできません。

③地中のれんこんが凍結

れんこんは泥の中で冬を越し、翌年には新たな芽が出てきます。それが、寒い地域では、**泥の中で凍ってしまいます**。そうすると翌年の芽(種れんこん)が出なくなってしまう、継続して栽培することができません。



動画で見よう！

れんこんがどうやって栽培されて、食卓に届くのか、左のQRを読み込んで、見よう！

だから上田市では栽培が難しいんだ！



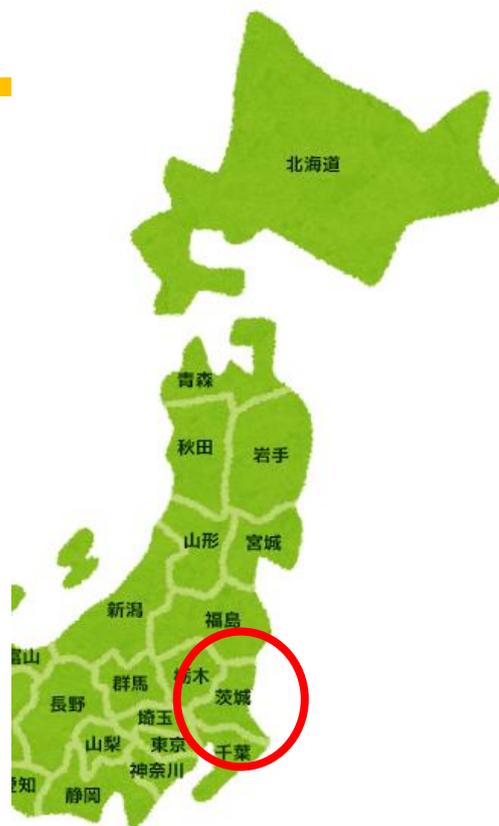
JA 水郷つくばのれんこんについて

◆茨城県土浦市は、日本一のれんこんの産地であり生産面積は、土浦市で 500 ヘクタール(東京ドーム約 107 個分)、茨城県かすみがうら市で 350 ヘクタール(東京ドーム約 75 個分)あります。

◆ハウスの栽培も含めて一年中収穫することができます。

◆約 350 人のれんこん農家が年間約 8000 トン生産して出荷しています。

◆JA 水郷つくばのれんこんは、北海道から兵庫県まで約 40 の市場、多くのスーパーマーケットに出荷され、みんなの食卓にとどいています。



JA 水郷つくば： 茨城県

土浦市、龍ヶ崎市、牛久市、かすみがうら市、利根町、阿見町、美浦村
※7つの市町村から成り立っています

11月17日は「れんこんの日」

◆11月17日はれんこんの日です。1994年に、土浦市でれんこんの生産者が集まり、サミット(話し合い)が行われたことを記念して、みんなにれんこんをたくさん食べてもらうために制定されました。

11月はれんこんが一番おいしくなる時期!

おいしいれんこんをいろいろな食べ方でぜひ食べてみてください。



JAグループ茨城 れんこん流通部会
いばさられんこん広域銘柄推進協議会